

第 2 回次期栃木県教育振興基本計画懇談会の結果について

令和 7（2025）年 9 月 11 日

栃木県教育委員会

1 日時及び場所 令和 7（2025）年 5 月 21 日（水）14 時～16 時 栃木県総合文化センター特別会議室

2 議題

(1) 次期栃木県教育振興基本計画骨子（案）について

(2) 意見交換

3 委員からの主な意見

項目	主な意見	次期計画関連施策等
計画の位置付け	・「特別支援教育推進計画」については、 <u>特別支援教育の在り方が問われている現状において、全体計画と一体化してしまうことには違和感がある。これまで通り、特出しして策定すべきと思う</u>	特別支援教育推進計画を別途策定
基本理念	・予測困難な時代をどう切り拓いていくのかということが大切であり、自分の意志で切り拓くたくましさを育むことが重要と思う ・「基本理念」文言の<u>主語は教育者ではなく、教育を受けるこどもであり、「一人一人のこどもを主語にする」ということを大切にしていると感じた。</u> ・学校現場では、校則や修学旅行のルール等もこども達で話し合っ決めて決めるなど、こども達の意見を取り入れながら進めている。<u>教員がこどもたちの伴走支援していくことが今後の教育において大切なのではないかなと思う。「未来を切り拓く」でもよいかもしれないが、この基本理念の文言は非常に綺麗な言葉であり、基本理念はこのままの表現でよいと思う。</u>	総論・基本理念
基本目標・基本施策	・誰もが安全・安心に学べる学校づくりのためには、<u>安全管理の面とこども達の精神的安全（居心地のよさ等）の面の 2 つが重要である。学校だけの取組では難しい部分もあるので、家庭や地域と密に連携・協力し一体的に取り組むとよいと思う。</u> ・<u>夜間中学についての県民の認識はまだまだと思う。それらを必要としている人に届くように周知していく必要があると思う。</u> ・今のこどもは、自分が将来どうなりたいかを描けない子が多いと思う。こどもたちが人生設計できるよう、<u>地元企業の協力も得ながらキャリア教育に取り組んでほしい</u> ・<u>地元愛、地域への愛着と誇り、地域の課題に目を向ける学びを小さいうちから醸成し、とちぎで学んだ子がとちぎの未来の担い手となっていくとよいと思う。</u> ・「誰もが安全・安心に学べる学校づくり」に向けて、トイレの洋式化等を含め、<u>学校の施設の改善にも取り組んでほしい。</u> ・<u>教員不足の解消に向けて、働き方改革に取り組むことが重要と思う</u>	基本施策 1・2 基本施策 3 (4) 基本施策 6 (1) 基本施策 8 (2) 基本施策 10 (2) 基本施策 10 (2)
全体	・取組の具体がわかりにくい項目があるので、 <u>表現を工夫してほしい</u>	